Nissin DIGITAL

SPEEDLITE Di466

キヤノン製 デジタルカメラ用
ニコン製 デジタルカメラ用

取扱説明書

NISSINスピードライト**Di466**をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

Di466は、以下に記載するデジタル一眼レフカメラやホットシュー付デジタルカメラの最新のTTL自動調光システムに対応するデジタル専用ストロボです。
※フィルムカメラにはご使用できません。

Cタイプ: キヤノンデジタルカメラ用
EOS　デジタル一眼レフカメラや、ホットシュー付POWERSHOTデジタルカメラで、E-TTL/E-TTL II 調光を行うカメラ。

Nタイプ: ニコンデジタルカメラ用
ニコンデジタル一眼レフカメラや、ホットシュー付COOLPIXデジタルカメラ、または、富士フィルムFinepixデジタル一眼レフカメラで、i-TTL調光を行うカメラ。

※対応カメラに関する詳しい情報はニッシンジャパンホームページやカタログなどに記載されている対応表でご確認いただくことが出来ます。なお、一部のカメラではご使用になれませんのでご注意ください。

ご使用にあたっては、この使用説明書をよくお読みになり、内容をご理解の上、正しくお使いいただきますようお願いします。

Nissin ニッシンジャパン株式会社
〒167-0053
東京都杉並区西荻南3丁目18番15号西荻昭和ビル3階
TEL 03-5336-4712(代)　FAX 03-5336-4714

安全上のご注意 ■必ずお守りください。

ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止する為、お守り頂くことの説明をしています。よくお読みになり取扱いにご注意ください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずお守りください。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。必ずお守りください。

⚠ 警告

- ●本機は高電圧の部品を使用していますので、絶対に分解しないでください。修理の場合は、弊社サービスステーションかまたは、ご購入されたお店にお持ちください。
- ●落としたり、破損したりした場合、または機器の中に物体が落ち込んだ場合には、絶対に露出部分に触れないでください。
- ●人の目の前（特に乳幼児）に近づけて発光しないでください。目の近くで発光させると、視力傷害を起こす危険性があります。特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。
- ●コップ、化粧品、薬品の入った容器のそばで使用しないでください。こぼれたり、機器の中に入ったりした場合、火災、感電または傷害の原因になります。
- ●本機は防水ではないので、雨がかかる場所や、湿度の高い場所に置かないでください。
- ●自動車など40℃を超えるような高温になる場所に放置しないでください。
- ●可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在する恐れがある場所で使用しないでください。

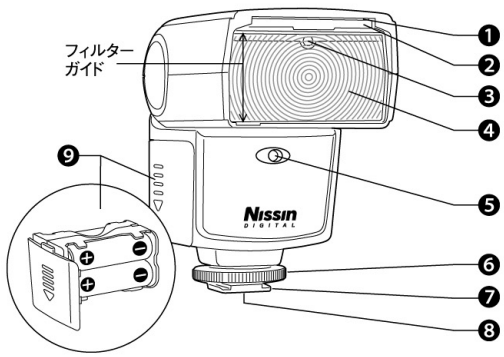
⚠ 注意

- ●電池を高熱にさらさないでください。
- ●乾電池は充電しないでください。
- ●不安定な場所で本機を使用しないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりすることにより怪我の原因となる場合があります。
- ●ストロボ発光部の発熱や劣化を防止するため、連続発光は20回までに抑えてください。また、20回連続発光したあとは、10分以上休止してください。

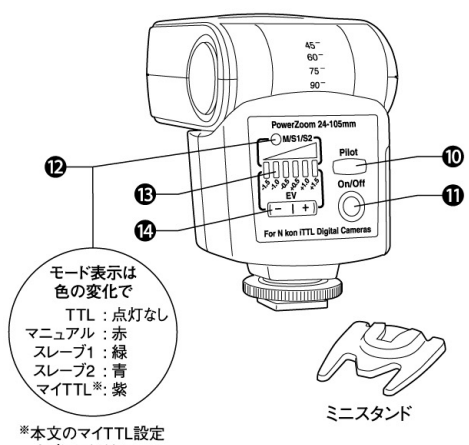
⚠ その他の注意

- ●ベンジンやシンナ　、アルコ　ルなどで本機を拭かないでください。変色や変形の原因となります。汚れのひどいときは柔らかい布で乾拭きしてください。
- ●本機を長期間使用しない場合は、電池を抜いて保管してください。

■各部名称



❶ キャッチライトパネル
❷ 内蔵ワイドパネル（18mm）
❸ スレーブセンサー
❹ フラッシュヘッド
❺ オートフォーカス補助光
❻ ロックリング
❼ ホットシュー
❽ シュー接点ピン
❾ バッテリーマガジン



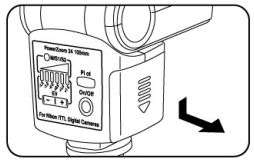
⓾ パイロットランプ（テスト発光ボタン）
⓫ 電源ボタン
⓬ モードボタン／モード表示
（TTL→マニュアル→スレーブ1→スレーブ2、マイTTL）
⓭ パワーレベルランプ (6 LED)
⓮ セレクトボタン（TTL調光補正および発光レベル切換）

付属品: ミニスタンド、ソフトケース

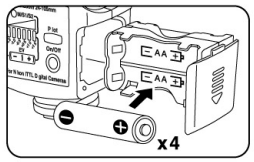
■基本操作

注 意 Di466を装着したり、取り外したりする前に、Di466とカメラの電源を切ってください。

電池の挿入の仕方

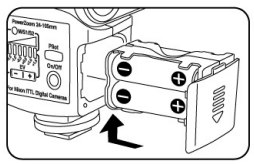


- バッテリーマガジンのカバーを下にスライドして取り出します。
- 右図のように、バッテリーマガジンに、単3形電池4本をプラス／マイナスの向きを揃えて、正しく挿入してください。
- バッテリーマガジンを本体に挿入し、カバーを上にスライドして閉めてください。

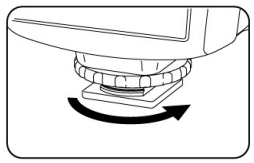


注 意

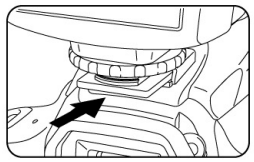
すべて同じブランドの新品の電池または、同時にフル充電を行ったすべて同じブランドの充電池をご使用ください。また、電池の交換は4本同時に行ってください。挿入の向きを間違えると、機器が作動しません。



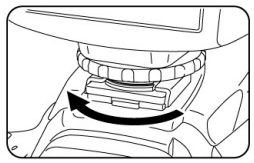
カメラへの装着の仕方



- 図のようにロックリングをまわして、十分にゆるめます。



- 本機をカメラのホットシューに差し込みます。



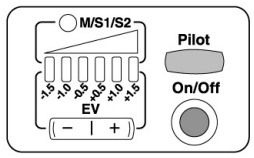
- ロックリングを図のようにまわし、カメラに固定します。

  ロックピンにより、しっかり固定されていることをご確認ください。

カメラから取り外すとき

- ロックピンがホットシューにひっかからないよう、ロックリングを十分に緩めてから取り外してください。

ストロボの電源の入れ方



- 電源ボタンを約2秒間長押しすると電源が入ります。電源が入ると、＜Pilot＞が赤色に点灯し、充電が始まります。
- 数秒後に＜Pilot＞ランプが緑色に変わると、充電が完了し、ストロボ撮影が可能な状態になります。
- テストのため、＜Pilot＞ランプを押してテスト発光してください。
- フラッシュを使用しないときは、電源ボタンを約2秒間押すと電源が切れます。

省電力モード

電池の消耗を防ぐために、カメラがオートパワーオフ状態になってから約2分後に、自動的にスタンバイモードに入ります。スタンバイモードのときは、＜Pilot＞ ランプが、2秒間隔で点滅します。
Di466のボタンを操作するか、または、カメラを半押しするとスタンバイモードから復帰します。
なお、スタンバイモードに入って30分経過するとDi466は、オートパワーオフにより完全に停止します。この状態から再びDi466を起動させる場合は、電源を入れなおしてください。

※スレーブモードでご使用の場合には、Di466はスタンバイモードに切り替わらず、60分後にオートパワーオフにより電源が切れます。

全自動ストロボ撮影

キヤノンカメラの撮影モード

＜**P**＞（プログラム）、＜**□**＞（フルオート）、＜**AV**＞（絞り優先）、＜**TV**＞（シャッタースピード優先）、＜**M**＞（マニュアル）

ニコンカメラの撮影モード

＜**P**＞（プログラム）、＜ AUTO ＞（フルオート）、＜**A**＞（絞り優先）、＜**S**＞（シャッタースピード優先）、＜**M**＞（マニュアル）

上記に記載したすべての撮影モードにおいて、Di466はTTL調光（キヤノン用の場合は**E-TTL II／E-TTL**調光、ニコン用の場合は**i-TTL**調光）を行うことができます。

- 電源ボタンを押しと、自動的にTTLモードが起動します。
- ＜Pilot＞ランプが緑色に変わると撮影可能な状態になります。
- シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせます。
- カメラのファインダー内の（ ϟ ）点灯を確認します。
- シャッターを押すとストロボ撮影ができます。
- 焦点距離を変更すると、ストロボの照射角も連動して最適な角度に自動調整します。

参 考

◆ストロボの照射角度について
照射角は24mmから105mmまで連動します。24mmより広角の焦点距離をご使用の場合は、内蔵ワイドパネル（18mm）をご利用ください。105mmより望遠側の焦点距離をご使用の場合は、105mmの照射角度でカバーできます。

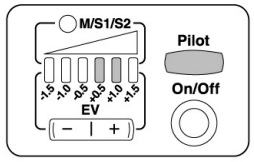
◆撮影距離について
ストロボを使用しても撮影画像が暗い場合は、被写体に近づいて撮影するかまたは、カメラのISO感度を上げてください。

Di466の使用方法は、とても簡単です。カメラにセットして電源を入れるだけで、クリエイティブなストロボ撮影を自動で行うことができます。基本的な撮影では、ストロボの操作は必要ありません。Di466はカメラによってコントロールされます。

モード		シャッタースピード設定	絞り設定	カメラの設定
キヤノン	ニコン			
[□]	[AUTO]	自動	自動	自動
[P]	[P]	自動	自動	自動
[Tv]	[S]	手動	自動	シャッタースピードは任意に設定
[Av]	[A]	自動	手動	絞りは任意に設定
[M]	[M]	手動	手動	シャッタースピードと絞りは任意に設定

■ストロボ撮影をより楽しむために

TTL調光補正



最新のTTL調光システムでは、ストロボ調光のレベルは、もっとも適正なレベルに調整されていますが、Di466では調光レベルを微調整するために「調光補正」を行うことが出来ます。「調光補正」、背景の露出を変えずに被写体の露出を微調整することが出来る便利な機能です。

- TTL調光補正は、1/2EVステップごとに−1.5 −1.0 −0.5 ±0 +0.5 +1.0 +1.5の7段階の調節が出来ます。
- パワーレベルランプのLED表示が点灯していない場合は、調光補正値は±0EVを表しています。デフォルト値は、±0EVです。
- セレクトボタンで好みの補正値を選んでください。セレクトボタンの+マークを押すと、+0.5→+1.0→+1.5と補正値が変化します。補正値を+側から±0側に戻す場合は−マークを押してください。−マークを押していくと、−0.5→−1.0→−1.5と変化します。補正値を−側から±0側に戻す場合は+マークを押してください。
- 撮影を行うと、選んだ補正値によりTTL発光を行います。被写体の露出のみが変わり、背景の露出は変化しません。
- カメラによっては、TTL調光補正はカメラのメニューモードで行うことが出来ます。カメラの調光補正値が設定されている状態で、Di466の調光補正を行った場合は、カメラの値に加えて補正が行われます。つまり、カメラが−1.0EV、ストロボが+1.5EVに補正された場合は、実質+0.5EVの補正となります。

バウンス発光

主に屋内で、天井や壁などにストロボ光を反射させてバウンス撮影を行うと、被写体の不自然な影を和らげ、自然な感じになります。特に幼児などの撮影を行う場合には、目への負担を軽減することができる便利な撮影方法です。

- ヘッドは、上方に45°→60°→75°→90°の順に向きを変えることが出来ます。

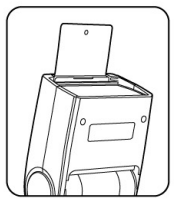
注 意

バウンス時は、照射角50mmに固定されます。

- 天井、壁までの距離が離れているときは、ストロボ光が十分に反射せず、効果を得られない場合があります。
- 天井や、壁の色が白でない場合は、反射光が影響を受けて着色する場合があります。
- バウンス時は、光の減衰が大きいので効果が十分得られない場合は、カメラのISO感度を上げて撮影を行ってください。

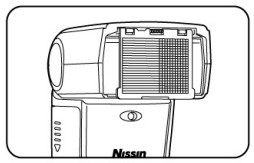
キャッチライトパネル（内蔵）

バウンス撮影時、近距離でキャッチライトパネルを使用すると、被写体の人物の目に光が差し込み、表情が明るくなります。



- ワイドパネルを引き出すとキャッチライトパネルも一緒に引き出されますので、ワイドパネルを押し戻してください。
- キャッチライトパネル使用時は、フラッシュヘッドを上方90°にバウンスさせてください。

ワイドパネル（内蔵）



- 内蔵のワイドパネルを引き出して、図のように発光部の前に被せると、18mmの撮影画角に対応できます。
- 同時にキャッチライトパネルが引き出されますが、キャッチライトパネルは、押し戻してください。

注 意 バウンス使用時には、ワイドパネルを収納してください。

参 考 ワイドパネルは光を拡散させる効果もありますので、ストロボ光をソフトにしたいときなどにご使用ください。

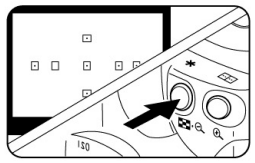
オートフォーカス補助光

定常光の少ない場所や、暗所で撮影を行う場合、オートフォーカス補助光を被写体に自動的に照射し、合焦しやすくします。照射された赤色光は、撮影画像には写りません。

フラッシュパワーロック

背景と被写体の明るさが極端に異なる場合や、被写体が画面の中央部にから外れているときなど、ストロボの自動調光が意図しない露光量に設定されることがあります。そのような時は、フラッシュパワーロックにより任意の部分の露出に合わせて調光させることができます。

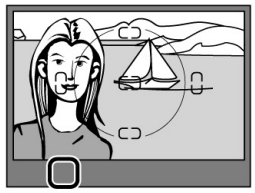
キヤノンカメラの場合；FE ロック



- 被写体にピントを合わせます。
- 被写体を中央に置き、カメラの＜＊＞ボタン（または、**FEL**ボタン）を押します。
- プリ発光を行い露光量が記憶され、ファインダー内に＜＊＞マークが点灯します。
- 撮影アングルを決め、シャッターを押します。

注 意 **FEL**は、P、Av、Tv、M、A-Depモードで機能します。

ニコンカメラの場合；FV ロック



- カメラのメニューモードにより、FVロックを設定します。
- 被写体にピントを合わせます。
- 被写体を中央に置き、カメラの＜**AE-L**＞ボタン（または、**AF-L**ボタン）を押します。
- 撮影アングルを決め、シャッターを押します。

ニコンカメラのみの機能

以下の機能は、ニコンカメラでのみ有効な機能です。詳しくは、カメラの取扱説明書をご参照ください。

スローシンクロ

夜間や低照度の背景で被写体を撮影する場合、適正な露出を得るためにシャッタースピードが遅いスピードに設定された状態でストロボ発光を行う機能です。

SLOW

赤目軽減発光

被写体の赤目現象を軽減するために、Di466は本発光を行う直前に3回赤目軽減プリ発光を行います。赤目軽減発光は、スローシンクロと組み合わせて使用できます。

SLOW

後幕シンクロ

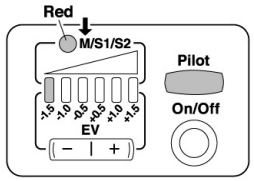
後幕シンクロに設定すると、シャッターが閉じる直前に発光を行います。スローシャッター使用時、発光しながら移動する被写体を撮影すると、自然な光の軌跡を描くことが出来ます。

REAR

マニュアル発光

自動調光による露出では、自分の意図する露出が得られないときは、マニュアル発光により、任意の発光量を設定することができます。発光量は、1/1から1/32まで、1EVステップで設定できます。

- モ ドボタンを押し、モ ド表示を赤にします。
- 一番左側のLEDが点灯します。このときの発光量は1/32です。セレクトボタン（十）を押していくと、パワ レベルは、左から右に順に大きくなります。
  1/32→1/16→1/8→1/4→1/2→1/1(FULL)
- セレクトボタン（ ）を押していくと、パワ レベルは、右から左に順に小さくなります。



- カメラの撮影モ ドを＜AV＞（キヤノン）、＜A＞（ニコン）、または＜M＞にセットしてください。
- 好みのF値やシャッタ スピ ドを選択し、撮影を行って下さい。
- 発光量は、カメラのモニタ 画面を見ながら調節を行ってください。

ワイヤレス・スレーブ機能

Di466は、スレーブストロボとして、ワイヤレス同調を行うことが出来ます。この機能は、マルチライティングによるクリエイティブなストロボ撮影を可能にします。Di466のスレーブには2つのモードがあります。

S1:（緑のモード）

デジタル一眼レフカメラのプリ発光を伴ったTTL調光システムにワイヤレス同調するデジタルスレーブ機能です。

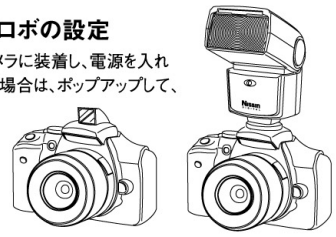
S2:（青のモード）

フィルム一眼レフカメラや、スタジオストロボなど単発発光のストロボに同調するアナログスレーブ機能です。

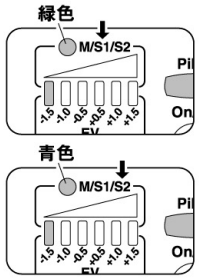
本機能により、Di466は、カメラの内蔵ストロボやカメラに搭載されたマスターストロボ（ニッシンストロボまたはキヤノンストロボ）の発光をスレーブセンサーで受光しワイヤレス同調します。発光レベル調節は6段階で、マニュアルモードと同様にセレクトボタンにより設定することが出来ます。

■ マスターストロボの設定

マスターストロボをカメラに装着し、電源を入れます。内蔵ストロボの場合は、ポップアップして、発光可能な状態にします。



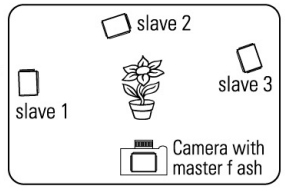
■ Di466の設定（スレーブ）



- モードボタンを押して、**S1**（**緑色**が点灯）または**S2**（**青色**が点灯）を選択してください。
- 最初に一番左側のLEDが点灯します。このときの発光レベルは、1/32です。
- セレクトボタン（十）を押していくと、パワーレベルは、左から右に順に大きくなります。
  1/32→1/16→1/8→1/4→1/2→1/1（FULL）
- セレクトボタン（−）を押していくと、パワーレベルは、右から左に順に小さくなります。
- 設定した発光レベルは、電源がOFFになるまで、保持されます。

■ 撮影方法

- カメラの内蔵ストロボまたは、接続されている外付けストロボ（マスターストロボ）を発光可能な状態にします。
- スレーブストロボ（Di466）を任意の場所に設置します。
- マスターストロボのテスト発光を行い、スレーブストロボの同調を確認します。
- スレーブストロボが同調すれば、撮影可能になります。



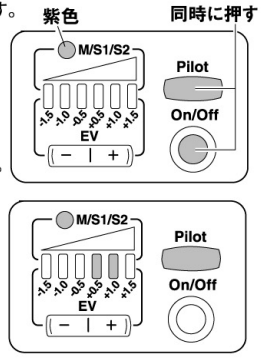
※被写体の周辺に設置できるストロボの数に制限はありません。
※スレーブ時オートパワーオフ機能により60分後に電源オフになります。
※スレーブ時はスタンバイモードには切り替わりません。
※スレーブ時は、照射角は35mmに固定されます。
※Di466の設置場所によっては、スレーブ同調しない場合があります。
※金属製のアクセサリーシューにDi466を取り付けると発光しない場合がありますので、ご注意ください。

マイTTL設定

Di466のTTL調光レベルは、ニッシンストロボとして最適なレベルに調整されていますが、必要があれば自分好みの調光レベルにカスタマイズすることができます。調光補正の場合は、電源を切ると値がリセットされるのに対し、マイTTL設定の場合は、電源を切っても、電池を入れ替えても、補正値が保持され続けます。

■ マイTTL設定方法

- パイロットランプを押しながら電源ボタンを約3秒間押します。
- モード表示が**紫色**に点灯します。
- セレクトボタンの＋または−を押して、調光レベルのカスタマイズを行ってください。
  調整範囲は、−0.75 −0.5 −0.25 ±0 +0.25 +0.5 +0.75で、1/4EVステップです。
  （マイTTL設定のときは、調光補正値として表示されている値と異なりますので、ご注意ください。）



- 好みのレベルに設定された状態で、電源を切ると設定レベルが記憶されます。
- 電源をONにすると、通常の基本操作が行えます。（調光レベルはカスタマイズされています。）
- 設定状態を確認したり、設定値を変更する場合は、もう一度、パイロットランプを押しながら電源ボタンを約3秒間押してください。

フィルター装着ガイド

Di466の発光部前面には、環境光に合わせてストロボ光を着色するときなどに使用する照明用カラーフィルター（市販品）を装着できるガイドが切ってあります。
※ゼラチンフィルターはご使用にならないでください。

■ 主な仕様

使用カメラ	キヤノン製 EOS デジタル一眼レフカメラ	ニコン製 デジタル一眼レフカメラ
ガイドナンバー	46（ISO200、照射角105mmのとき） 33（ISO100、照射角105mmのとき）	
照射角	24-105mm（内蔵ワイドパネル使用時18mm） オートパワーズームによりレンズ焦点距離に自動で連動	
電源	単3形電池4本使用（電池別売） ※ニッケル水素電池、リチウム電池、オキシライド乾電池使用可能	
発光回数	200〜1500回（アルカリ乾電池の場合） ※使用モードにより異なります。	
節電機能	カメラがオフになってから約2分後にスタンバイモード。 スタンバイモードから30分後に電源OFF。 デジタルスレーブ時に、無操作から60分後に電源OFF	
充電時間	約3.8秒（オキシライド乾電池、ニッケル水素電池） 約4.5秒（アルカリ乾電池）	
調光方式	E-TTL/E-TTL II ／マニュアル	i-TTL ／マニュアル
フラッシュパワーロック	**FEロック** 【FEL】または 【＊】ボタンによる	**FVロック** 【AE-L】または 【AF-L】ボタンによる
AF補助光	有効距離0.7-6m	
色温度	5600K	
閃光時間	1/800秒（フル発光時） 1/800-1/20,000秒（TTL時）	
ワイヤレス発光	デジタルスレーブ（S1）とアナログスレーブ（S2）	
大きさ	67X100X105mm	
質量	240g（電池除く）	

※製品の仕様は、改良などにより予告なく変更することがあります。

■ ガイドナンバー表（ISO 100）

ズーム位置	発光レベル					
	Full	1/2	1/4	1/8	1/16	1/32
24mm	18/59	12.7/42	9/29	6.4/21	4.5/15	3.2/10
28mm	20/65	14/46	10/33	7/23	5/16	3.5/12
35mm	22/72	16/52	11/36	7.8/26	5.5/18	4/13
50mm	24/79	18/59	12.7/42	9/29	6.4/29	4.5/15
70mm	27/88	19/62	13.5/44	9.5/31	6.7/31	4.7/15.5
85mm	30/98	21/69	15/49	10/33	7/23	5/16
105mm	33/108	23/75	16.5/54	11/36	8/26	5.6/18

■トラブルシューティング

ストロボがチャージしない。
- 電池の向きを確かめて、逆向きになっている場合は、正しく挿入してください。
- 電池が消耗していないか確認して、消耗している場合は、新しい電池を入れてください。

ストロボが発光しない。
- ストロボがカメラにしっかり固定されてない場合は、奥までしっかり装着して、ロックリングで固定してください。
- ホットシュー接点が汚れている場合は、接点を乾いた布で拭いてください。
- オートパワーオフ機能により電源OFFになっている場合は、電源を入れなおしてください。

写真が露出オーバーまたは、アンダーになる。
- 被写体の近くに反射物などがあって、正常に調光されない場合は、FEロック機能を使用してください。
- モードを確認してマニュアルモードになっている場合は、＜TTL＞モードに設定してください。

NISSINは、ニッシンジャパン株式会社の登録商標です。
その他記載の会社名や製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

★最新カメラへのファームウェアアップデート サービス（有償）やファームウェア対応状況に関するお問い合わせは、ニッシンジャパンホームページ、または、お問い合わせ窓口をご利用ください。

ニッシンジャパンホームページ：nissin-japan.com
TEL：03-5336-4712